2021 10 vol.91

ヨコハマよみうり
Yokohama Yomiuri

■発　　行／横浜読売会
■発 行 日／毎月5日
■発行エリア／横浜市内全域
■制　　作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0021
横浜市中区日本大通7
日本大通7ビル4F YBP
http://yokohama-yomiuri.co.jp

神奈川県
ワクチンは、
自分のため、大切な人のため
新型コロナワクチン接種を受けましょう
感染対策も忘れずに
詳しくはこちら

3年連続盗塁王、「スーパーカートリオ」の一人として、横浜大洋ホエールズファンを沸かせた元プロ野球選手の屋鋪要さん。現在は野球指導に力を入れる傍ら、さまざまな趣味を持つ「自由人」。多くの楽しみに彩られた豊かな人生のルーツとは。

元プロ野球選手
屋鋪 要さん
Yashiki Kaname

1959年生まれ、兵庫県出身。三田学園高校卒業後、横浜大洋ホエールズ（現横浜DeNAベイスターズ）へ6位指名を受け入団。86年から3年連続盗塁王を獲得。84年から5年連続ゴールデングラブ賞を受賞。94年読売ジャイアンツへ移籍、日本シリーズでは最終回同点を阻止したダイビングキャッチで勝利に貢献、その年日本一に。著書に『選手を伸ばす！少年野球コーチング』（ナツメ社）『遥かなる鐵路』（日本写真企画）など。

ラベンダーの挿し木を手に

指導の要は「理論」

現役とコーチで22年、ユニフォームを脱いで22年。今年で同じ年数になりました。今は軟式社会人野球の監督と複数の少年野球スクールでの指導をしていて、コロナ禍前は全国の野球教室にも出向いていました。どんなプレーでも自分の頭で理解して自分で考え、納得してやらなければ意味がないと思うので、僕は押さえつけるような指導はしません。大切なのは「理論」。例えば構える時のバットの角度は何度が最適なのかなど、一つ一つのプレーは理論で説明できます。実はこんな野球理論に気付いたのは引退後でしたが、だからこそたとえ小さい子であっても必ず「理論」を教えます。みんな上手になりますよ。プロに入った子もいます。

また、理にかなわない叱り方はしません。例えば「エラーするな」とは叱らない。どうしてエラーしてしまったのかその原因を見極めてアドバイスをします。そして少年時代に大切な「心」を育てることも指導者の大切な役目だと思っています。

子ども時代

生まれは大阪で、小学2年生の時に兵庫に引っ越しました。子どもの頃から足は速かったですよ。父親とよくキャッチボールをしていましたが、まだうまく捕れない僕に父が優しくボールを投げてくれたことが、野球を好きになったきっかけになったのかもしれません。地元の野球チームに入ったのは4年生の時。6年生になり野球の強豪校、私立の三田（さんだ）学園に憧れて中学受験を考え、母と一緒に担任の先生に相談に行くと、絶対に受かりませんよと鼻で笑われました。すると母が、あんなことを言われて悔しくないのか、絶対に入りなさいと（笑）。向かいに住む教師をしているご夫婦に家庭教師をお願いして猛勉強し合格しました。その担任の先生とは今も繋がりがありますよ。僕はやんちゃで、当時よく立たされました。でも学級委員だったんですよ（笑）。

中学からは寮生活。当時は学校の敷地のほとんどが森で、夏は朝5時頃からクワガタムシを捕まえ秋はアケビを採り、春はツクシを甘辛く煮て食べました。ホームシックなんて全くなかった。自然も昆虫も大好きだった僕にとっては天国でしたね。

50年を経て繋がった縁

興味を持ったことには何でも協力してくれる家庭で育ちました。5年生の時、友達に蒸気機関車の写真集を見せてもらい、かっこいい！と夢中になった僕を、父は北海道へ撮影旅行に連れて行ってくれました。プロ野球引退後、600両ほどある全国の蒸気機関車を撮影して歩いたのも、この時の経験があってこそだと思います。

母が華道の師範だったためか若い頃から花にも興味がありましたが、今は山野草が好きで、山野草好きが集まった「横浜山草会」でも活動しています。山野草といえばキキョウやリンドウなどが知られていますが、僕が一番好きなのは花びらが「大」の字に似た可憐な大文字草。育てているうちに100鉢にもなりました。山野草のほかにもラベンダーを栽培しています。以前知人にもらった3株の苗を自己流で世話をして枯らしてしまい、そこから栽培方法を猛勉強。ラベンダーは色、形もさまざまで品種は数えきれないほどありますが、自宅でも110種ほど栽培していて、さらに挿し木で増やし公園や老人ホームなどにもお分けしています。

小学生だった50年前、小遣いをためて買ったのは鉄道カメラマン・広田尚敬さんの蒸気機関車の写真集。広田さんは現在も現役で活躍するカメラマンで、親しくさせていただいていますが、今回ラベンダーの勉強をしようと購入した本が広田さんの奥さまの著書で。思い返すと「うちの奥さんハーブが好きでね」とおっしゃっていましたが、知らずに選んだ本がまさか奥さまの本だったなんて驚きました。ご縁って本当に不思議ですね。

横浜が大好き

18歳で横浜大洋ホエールズに入団して、20歳から42年間ずっと横浜市民です。横浜は神戸に似た港町で雰囲気があっておしゃれで、ご近所の方々もフレンドリーで大好きです。馴染みのお好み焼き屋さんにゴールデングラブ賞を差し上げたら、ケースに入れてお店に飾ってくださって。そんなふうにしていただけるなんてうちの押し入れで眠っているよりずっといいですよね。

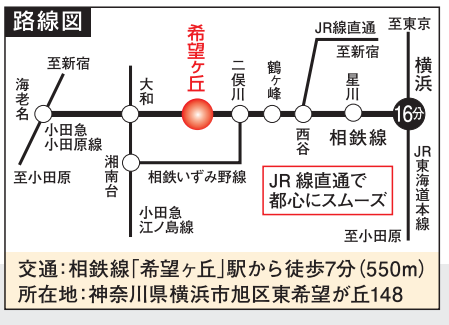
ホームタウンである横浜で、ラベンダーの講座をさせていただきます。堅苦しくならずラベンダー栽培の魅力を皆さんと分かち合えれば。どんなご縁が生まれるか楽しみです。

屋鋪要とラベンダーに囲まれた生活を

基礎知識をはじめ、苗から育てる楽しみ、増やし方、12カ月の管理方法などラベンダーの魅力を楽しく学ぶ
（途中入会・見学・体験OK）

受講日：10月3日～ 第1・3日曜日
13時～14時30分
受講料：3カ月6回 19,800円
講　師：屋鋪要
問合せ：☎045（465）2010
よみうりカルチャー横浜（そごう9階）

横浜駅発 送迎付き見学会 昼食付き
10月14日(木)・27日(水)
10:30　横浜そごう時計台前　集合
15:00　横浜駅解散予定　要予約
■定　員：各日3組限定
■参加費：1000円(税込)
ご来場された方に中銀のお茶プレゼント！
※横浜駅から施設まで、車で約30分です。

路線図


交通：相鉄線「希望ヶ丘」駅から徒歩7分（550m）
所在地：神奈川県横浜市旭区東希望が丘148

横浜の介護付有料老人ホーム（一般型）　入居時自立
中銀ライフケア 横浜希望ヶ丘

自立意識の高いシニアが第2の人生を謳歌する住まい

「中銀ライフケア横浜希望ヶ丘」は、「入居時自立」の介護付有料老人ホーム。老人ホームといっても介護施設ではなく、元気な人が自由に第2の人生を謳歌できる住まいだ。このタイプのホームは横浜市には少ないという。同ホームは27年の歴史があり、母体の中銀グループは中高齢者専用住宅の先駆者として半世紀の実績を誇る。

外出に便利な立地

入居者の自立意識が高いことが大きな特長の同ホーム。買い物や習い事などに出かけたり、ビリヤード・卓球・囲碁などのサークル活動を楽しんだり、意欲的に生活している人が多い。相鉄線「希望ヶ丘」駅まで徒歩7分、横浜駅や直通電車で都心へも便利な立地であることが自立した生活を後押ししている。

快適な生活空間

共用施設は、ホテルのようなラウンジや大浴場、AVルーム、図書室など種類が豊富。居室は全室南向きで、47・80㎡～58・83㎡と広く、ゆったり過ごすことができる。緊急コールやチェックセンサーも設置されている。

介護が必要になったら

介護が必要になった場合、介護・看護職員が24時間常駐する※施設内のケアセンターで介護を受けられる。常時介護が必要になった際は、隣接する「ケアホテル」への住み替え制度もあり安心だ。

横浜駅から車で送迎する見学会を10／14（木）・27（水）に実施。住空間の快適さを体感してはいかがだろう。

※夜間（19時～翌7時）最少時介護職員または看護職員1名

昨年秋、感染症の専門家を招き、職員の研修会を実施。換気等の指導を仰いだり、新型コロナの仕組みやメカニズムを教わったりしたことを基に、館内の感染対策の徹底を図っているという

ご予約・お問い合わせは　0120-67-0723　受付時間 9:00～17:00
事業主体：中銀ライフケアホーム株式会社
（東京都中央区勝どき2-8-12　東京ビュック中銀）
中銀希望ヶ丘　検索
PR